
第 4 回 昭島市総合基本計画審議会 議 事 要 旨

[日 時] 平成 21 年 9 月 11 日 (金) 19:00 ~ 20:30

[場 所] 昭島市役所 3 階 庁議室

[出席者]

1 委員

石崎忠司会長、小川仁副会長、井ヶ田博委員、大田眞也委員、岡田明恵委員、小野正敏委員、小林和子委員、竹村茂己委員、中野久史委員、中村圭子委員、長谷川祐司委員、平石正美委員、平畑文興委員、福田晃委員、福崎誠委員、松本芳之委員、矢崎まゆみ委員

(欠席者) 稲員とよの委員、川元英貴委員、國井俊彦委員

2 事務局

日下企画部長、早川企画政策室長、佐藤総合基本計画担当主幹、別所主査

3 コンサルタント会社

白鳥、田中

4 傍聴者 2 名

[日程]

1 第 3 回審議会の継続案件について

2 基本構想素案について (その 2)

(1) 将来都市像について

(2) 施策の大綱について

心ゆきかう あきしま

ともに支えあう あきしま

未来を育む あきしま

(3) その他

[配布資料]

・ 第 4 回昭島市総合基本計画審議会日程

・ 資料 1 第 3 回審議会での継続案件について

・ 資料 2 昭島市基本構想素案-2 「4 将来都市像」から「6 基本構想の推進に向けて」まで

・ 資料 3 第五次基本構想における将来都市像の案文一覧

・ 資料 4 第五次基本構想施策の大綱

・ 資料 5 第五次総合基本計画審議会開催計画 (案)

・ 資料 6 昭島市総合基本計画審議会 部会別委員構成 (案)

[議事要旨]

1 会長あいさつ

石崎会長による開会の挨拶が行われた。

2 第3回昭島市総合基本計画審議会 議事要旨の修正について

4 ページ 22 行目の「昭和記念公園」は「昭和公園」なので、修正して欲しい。【小林委員】

修正させていただく。【事務局】

3 第3回審議会の継続案件について

【説明】

事務局より、資料 1「第3回審議会での継続案件について」に基づき以下のとおり説明があった。

(1)「まちづくりの理念」について

事務局で検討した結果、理念に関するタイトル表記について、原案とおり「まちづくりの理念」と表記させていただきたいと考えている。

(2)「あきしまらしさ」のあふれるまちづくりについて

事務局で検討した結果、まちづくりの視点の中で、昭島の個性や魅力といったものへの配慮に触れることは必要であること、また、これからのまちづくりで、「あきしまらしさ」を市民とともに見出し、作り上げていくといった面が大切であることから、この部分の表記を「あきしまらしさ」を育むまちづくり」と改め、キーワードの一つとして位置づけて行きたいと考えている。なお、基本構想の修正案については、資料 1 の 3 ページのとおりである。

【質疑応答・意見】

私の方で問題提起をし、検討した結果、一定の方向性を出していただいたので、これについては尊重して行きたい。なお、検討結果でも触れているが、「まちづくり」という言葉が多様な使われ方をしており、最近ではハード的な意味合いよりも、市民とのパートナーシップによるものなどソフト的な使われ方が目立っている。こういった変化した部分について、多少なりとも盛り込んだ方が時間の変化に反映できるのではないかと考えるので検討していただきたい。【平石委員】

昭島市も自主性を持った自治体として、新しいまちづくりという意味で、新しい「あきしまらしさ」を作っていく、というようなニュアンスが強くなるのではないかと。【福崎委員】

これらの点については、事務局の方で汲んでいただいて、今後の内容に盛り込むようお願いし、前回の継続案件については、ご了承いただいたということでもよろしく願います。【石崎会長】

4 基本構想素案について(その2)

【説明】

事務局より、「資料 2 昭島市基本構想素案-2」の説明及び朗読があった。なお、資料の説明については、以下のとおり。

- ・ 資料 2 については、基本構想の後半部分の資料となっており、時間の関係から、本日の審議会では、このうち、施策の大綱の「(3) 未来を育むあきしま」までご審議いただき、残りは次回の審議会の議題としたい。
- ・ 現時点では、将来都市像については空欄となっている。資料 3 に将来都市像の案について、市民ワークショップや、庁内のワーキングチームでの検討結果などを踏まえ、取りまとめている。今後、審議会において将来都市像をご審議いただくこととなるが、配布した資料を基に、新たな案の作成や資料案の推敲など、ご検討をお願いしたい。
- ・ 資料 4 については、施策の大綱のキャッチコピーと分野別の内容について、一覧としたものである。

【質疑応答・意見】

(将来都市像について)

将来都市像のキャッチコピーについて、資料 3 (第五次基本構想における将来都市像の案文一覧) のキャッチコピーを審議会の中で選択するのか、それとも意見聴取のみか。【石崎会長】

現時点では、この中で確定するというのではなく、各委員にどんなキャッチコピーがいいのか検討していただき、次回以降にある程度キャッチコピーの数を絞って、11月の基本構想の最後の審議会で案を決めていただく。このような流れを考えている。

【事務局】

タイトルの将来都市像に「昭島」は入れないのか。

将来都市像のキャッチコピーをあまり早い段階で決めてしまうと、内容もその範囲内でしか検討できなくなる。最後に決めた方がいいのではないかと考えている。【福崎委員】

タイトルについて、前後関係で「昭島」の言葉が項目の中に入っていないので、「将来都市像」とした方がつながりいいのではないかと考えている。「昭島」を強調することも一つのやり方であるので、委員の皆さんでご審議いただきたい。

将来都市像のキャッチコピーについては、基本構想の部分は原案が固まった時点でパブリックコメントを実施する予定であり、その時点では、審議会に一定のご意見を頂戴したいと考えている。最終的なものではなく、こういった方向性であるといった観点から審議会の案を出していただきたい。【事務局】

「昭島」の言葉はいらないと思う。【竹村委員】

前回の第四次総合基本計画を見ていただくと、15 ページ (将来都市像 (まちづくりの目標)) に載っている。左側 14 ページの上の方に「昭島市基本構想」と明記し、タイトルを書かせていただいている。ご覧になった方々が「昭島市の計画である」と随所でわかるように、第五次総合基本計画についても工夫していきたいと考えている。【事務局】

冊子の紙面から、あきしまの将来都市像であることが明らかになるような工夫を計るということでもあり、「昭島」の言葉を入れなくても良いのではないかと考えている。【石崎会長】

(施策の大綱について)

(1) 人と人をつなぐ(コミュニティとネットワークの推進)について、地域で実際に一番欠けているのは、地域住民間のつながりである。単にコミュニティとネットワークだけではなく、何かもうひとこと入れることはできないか。【小野委員】

耳にやさしい部分があり、横文字を使いがちではあるが、コミュニティの部分での人と人とのまとめ、ネットワークの部分での人と人とのつながり、こういったことを意図してカッコ書きの中を作成した。地域での人と人とのつながりについて、もう少し良い表現、より適切なものがあるのかについては検討してみたい。時期的にはこれで確定しなければならないということではないので、委員の皆さんからのご提案があればひともいただきたい。【事務局】

(2) 地域支え合う(地域福祉の充実)について、3行目「地域のコミュニティやネットワークを中心として、～」と書いてあるが、漠然としていてわかりづらい。もう少し何か他の言葉がないのかどうか。

カタカナ語はなるべく使わないようにとは思っているのだが、いろいろな人が共通の考えで集まれば、それがコミュニティとなる。一つのコミュニティだけではなかなか力が発揮できない部分があるが、それが地域に集まってネットワークができてくると、大きな力となっていく、行政としてはこのような流れを中心として、地域福祉社会の形成をサポートしていく必要がある、といった考え方でコミュニティとネットワークの言葉を使わせていただいた。

もう少しいい表現、わかりやすい説明が追加できれば、検討していきたい。【事務局】
コミュニティというのは、戦後の地域社会形成のなかで、戦前との対比から必然的に使われてきた側面があり、この言葉が定着している自治体もないわけではない。具体的な活性化論、施策で考えるといろいろな使い方があるが、基本的には、総合的な運命共同体を意味する。例えば、子育てや環境の問題など限られた分野ではテーマコミュニティ、自分の住んでいる地域全体のためにやっていくのはトータルコミュニティといった使い方をする。専門的に取り組んでいる側から言うと、コミュニティというのが染み付いているといったこともあるが、施策や政策、世代によって受け止め方、考え方が違う部分もあるので、きちんとした説明、内容にあった使い方を工夫する必要もあるのではないかと思う。【平石委員】

コミュニティといった言葉を使わざるを得なくなっているが、十分に定着しているとはいえない部分があり、何かひとこと、ふたこと追加してわかりやすくなるようなものがあれば検討していただきたい。【石崎会長】

計画書の中には、用語集をつけさせていただく予定である。その中でうまく説明ができるかと思う。文章の中に書き込むとくどくなってしまう部分もあるかと思うので、用語集の活用を基本に検討させていただきたい。【事務局】

自分としても、自治会とコミュニティで何が違うのか、と質問され、回答に苦しんでいるので、ぜひ何かひとこと、ふたことつけ加えていただくと、わかりやすいと思う。

【小野委員】

第四次総合基本計画を読んでも、カタカナ語が増えている。ニーズとかワークライフバランスといった行政用語がたくさんある。意味がわかっているつもりでもわかっていない言葉がたくさん入っているので、市のレベルでどの程度できるかどうか、わか

らないが、可能な限り抑えていただく努力をお願いしたい。【松本委員】

この点については、少し検討してもらいたいと思う。ただし、文章の色調とかニュアンスとかが異なってしまっただけでは困るので、難しい部分があればご了承いただくということをお願いしたい。【石崎会長】

(3) ともに育む(学校教育の充実)について、7行目「安全でゆとりある教育環境の整備を進めるとともに、～」と書いてあるが、「ゆとりある教育環境の整備」とは何を言っているのか。【井ヶ田委員】

安全な施設であること、教育する場所にゆとりがある、子どもたちにのびのび行動していただけるような施設を目指していきたい、という意味を込めている。【事務局】

各学校から昭島市に対して毎年要望書に挙がる第一項目は、「トイレ」である。未だに和式トイレで換気扇がない。昭島市からの回答は、予算の関係で年1校しかできない。ゆとり教育ならわかるが、ゆとりある教育環境の整備よりも「快適な教育環境の整備」にさせていただいて、目標をしっかりとあげていただきたい。【井ヶ田委員】

学校のトイレの問題については計画的に進めているが、学校施設の耐震化の問題が先になり、計画を先送りせざるを得ないという側面がある。言葉としては、「快適な教育環境の整備」の方が適切であると考えてるので訂正させていただく。【事務局】

(3) ともに育む(学校教育の充実)について、7行目「安全で快適な教育環境の整備を進めるとともに、地域に開かれた学校づくりを推進し、家庭や地域と連携し、協力し、ともに育む教育を推進します。」と書いてあるが、地域の人たちは中学生以上の子どもを、怖くて何も注意ができない感じなので、学校の快適な環境を整備する上で、ノウハウのある専門家を入れていただくことを、ここに盛り込んで欲しい。【中村委員】

ご指摘の点については検討させていただくが、基本構想の部分は大きな総論のところであり、ここで触れるのが良いのかという部分もある。この後に具体的な施策を基本計画の中でつくらせていただくので、その中で具体的に盛り込んでいけるのではないかと思う。【事務局】

本日の議題については、今のところご理解いただいたということで確認する。残った部分については、次回の議題となるので、ご自宅で検討をお願いし、次回の審議会ではストレートに、すぐご意見等頂戴できるよう願います。

5 その他

【説明】

事務局より、資料5「第五次総合基本計画審議会開催計画(案)」、資料6「昭島市総合基本計画審議会 部会別委員構成(案)」に基づき以下のとおり説明があった。

(1) 審議会の開催計画について

第6回審議会以降については、事務局案として提示した。審議会については、概ね提示した内容で開催させていただく方向でご了承願いたい。11月20日と来年の9月10日については予備日である。

(2) 部会の設置について

審議会条例第3条第二項の規定に基づき、部会を二つ設置する。2月から8月までそれぞれ7回ずつの開催を予定している。

資料6(昭島市総合基本計画審議会 部会別委員構成(案))、第2部会担当部門の質の高い都市基盤整備を、「快適な都市空間の整備」に訂正させていただく。

市民公募委員については、それぞれの部会に男女1名ずつ参加していただくよう計画している。これについては希望をお聞きするので、次回の審議会までに事務局へ連絡していただくようお願いする。

【質疑応答・意見】

資料3(第五次基本構想における将来都市像の案文一覧)について、どのキャッチフレーズを使うか決まっていないのか。【石崎会長】

まだ決まっていない。【事務局】

次回の審議会は10月2日(金)の19時から開催することを確認し、閉会した。